



北海道

北国の暮らしから省エネを考える「フィフティ・フィフティ」プロジェクト

基にしたモデル的なプログラム	地球温暖化を学び学校の省エネを考える「フィフティ・フィフティ」プロジェクト
作成団体名	特定非営利活動法人FoEJapan
地域プログラム化メンバー	北海道ブロック実行委員会
実証協力校等	石狩市立生振（おやふる）小学校

SDGsの要素	 
ESDの要素	   有限性 連携性 責任性
能力／態度	    批判 未来 多面 伝達

● プログラムの概要

省エネルギー実施の一連のプロセスを、実際に実行しながら学ぶプログラムです。参加する児童が自ら考え、主体的に取り組めるよう促すこと、方法や成果の「見える化」、学校生活の改善提案、自治体の環境政策との連携等がポイントとなります。

● プログラムの目標

児童たちが自分で考えるプロセスを通じ、地球温暖化のしくみとエネルギー問題について学び、学校単位のエネルギー対策にあてはめて理解することを目指します。

特に、エネルギー消費量が高まる冬の家庭や学校におけるエネルギーの使用状況を理解し、省エネルギーの実践方法を考えることで、ものごとのつながりやかかわりを多面的、総合的に考える力を身に付けることを目標としています。また、省エネルギーの取り組みを続けていく難しさに気づき、続けるためにはどのような工夫やしくみがあれば良いかを考え、事例を学ぶことで、過去や現在に基づいて未来像(ビジョン)を構築し、それを他者と共有しながら、ものごとを推進する力を身に付けることができます。



日本や世界のエネルギー消費を確認



調べたことをまとめて壁新聞を作りました

①



調べたことをまとめて壁新聞を作りました

②

● 参加者の声

- 地球温暖化について調べてみて、地球の空気を良くしたいと思いました。
- 自分で考えるというのがすごく難しかったけど、環境のために自分たちにできることは節約だと思いました。授業をまた受けたいです。

●プログラムの流れ

1 時間目	地球温暖化はなぜ起こるのだろうか？
2 時間目	温室効果ガスを減らすにはどうしたらいいのだろうか？
3 時間目	毎日の学校生活でどのくらいのエネルギーを使っているのだろうか？
4 時間目	具体的な省エネ方法を知ろう（電気機器および照明）
5・6 時間目	具体的な省エネ方法を知ろう（暖房・空調）
7 時間目	学校内での省エネ余地探し
8 時間目	省エネに取り組みたくなるようなしくみを考えよう
9 時間目	省エネポスターを作ろう！
10 時間目	省エネ提案をまとめよう
11 時間目	学校の省エネ対策を発表しよう！